早春の八郷路を歩

残したい風景

中戸・太田地区

(第三弾

km

被爆体験伝承者(交流証言者)講話

山野湧水さんによる被爆体験伝承者講 話が行われました。山野さんは、当時6 歳で被爆した池田道明さんの体験を聞き 取り、交流証言者として活動しています。 八郷中の原田さんは「他人事だと受け取

らず、もっと戦争に 目を向けるべきだと 思う」と感想を話し てくれました。



読者アンケート【2/20必着】

応募者の中から抽選で5名様に プレゼント! こちらからご応募ください▶



有明 中学校

定員/200人(先着順

日時/3月20日丞(春分の 午前7 ムペ 日土 受付:午前9時~9時3分 天・荒天の場 が可否につ 1 へ順延(小 -ジでお知られているのでに 61 合3月23 でに 雨 7 決行 せ は ホ

雨

持ち物/飲み物・ 証など(昼食休憩なし。 みください か 二次元コード シンコーシステムスポ 食などは各自判断 (願います。) 5 お申し込 の上、

> 軽 険

駐車場/約70台(乗り合わ でお願いします。) ども500円(参加賞あり) 楽しく元気に歩ける人 費/大人2000円・子 /小学校高学年以上で

日常生活の身近な疾患などについて 地域の医師にお話を伺います。

今月のテーマ「花粉症」

花粉を浴びることで水様性鼻漏・鼻閉・く しゃみ・目のかゆみ、皮膚の炎症が起きます。 治療は抗ヒスタミン薬を中心とする各種内服 薬、点鼻薬、点眼薬、場合により皮膚炎への 外用薬を用います。スギ花粉に対する免疫 反応を軽減させる減感作療法がありますが、 令和5年は薬剤供給が不安定であったため、 新規の舌下免疫療法(治療薬を舌の下に含み、 飲み込むことで日々少しずつ免疫を作る治療 法) はできませんでした。基本的な予防法は マスク着用や眼球保護のゴーグル装用です。

吉田茂耳鼻咽喉科 院長 吉田 茂 先生

花粉症の現状

日本における花粉症の有病率は4割を超え ていて、国民病とも言えます。令和5年の スギ花粉飛散量は過去最高レベルでした。同 年も酷暑であったため、令和6年も大飛散が 推測されます。近年の温暖化の影響もあり、 スギが秋に狂い咲きして、飛散している印象 があります。花粉症の患者さんは今後も増加 すると推測され、膨大な花粉症患者さんへの 対応は、耳鼻咽喉科単独では厳しく、様々な 診療科との協力が必要と考えられます。

広告掲載欄

談

健

私たちのくらしに身近な

問本政策企画課 **IL** 23-7277



最近、テレビや新聞でよく見るようになった「SDGs」。2030年までに世界で取り組むべき 17の目標のことですが、世界規模で大きな話だから私たちには関係ないのではと思う人もい るかもしれません。しかし、平和な世界が脅かされることで、穀物価格や原油価格の上昇によ り物価が上がったり、自然環境の破壊や二酸化炭素の排出により、将来の暮らしに大きな悪影 響が出たりすることは、2030年のあなた自身の「幸せ」に関係のあることです。

ここでは、シリーズとして、17のゴールごとに身近な取組を紹介します。



目標 15: 陸の豊かさも守ろう~ 陸域生態系の保護、回復、持続 可能な利用の推進、持続可能な

森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地 の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失 を阻止する。

身近な取組

- ・庭やベランダに植栽を設ける。
- ・ペットを飼う際には責任を持ち、飼えなく なったペットを捨てない。



目標 16:平和と公正をすべて の人に~持続可能な開発のため の平和で包摂的な社会を促進し、

すべての人々に司法へのアクセスを提供し、 あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任の ある包摂的な制度を構築する。

身近な取組

- ・選挙へ行き、投票を行う。
- ・国際的な紛争問題などに関心を持つ。
- ・地域の防犯活動などに積極的に参加する。

まちかど情報センターニュース

●いしおか雛巡り「歴史絵巻情景飾り」

▶まちかど情報センター特設ステージでお雛 様たちが繰り広げる圧巻の歴史絵巻

期間: 2月10日田~3月10日回







- ●パソコン教室「仲間とワハハで脳活OK」
- ※2月はお休みです。
- ●第サン・ド曜日の市「サンド市」
- ▶趣味の手作り品、中古ラジオなど掘り出し 物を販売

日時: 2月17日田 午前11時~午後3時

- ※参加者募集中
- ●2月のコミュニティ
- ※ちりめん細工、折り紙教室ともにひな飾り 展示のため、2月はお休みです。

間まちかど情報センター(木曜休館)

住所:国府 3-1-16 **電話**:27-5171 開館時間:午前9時~午後7時

※変更・中止または休館の可能性あり